



運転席キット

Greensmaster® 3300/3400 シリーズ TriFlex®トラクションユニット

モデル番号 04718

モデル番号 04719

取り付け要領

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	シート・アセンブリ フランジナット 短いワイヤハーネス	1 4 1	新しい座席を取り付けます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

- まだ運転席が取り付けられていない、ディーゼル仕様の新車にこのキットを取り付ける場合には、出荷用ブラケットをシートパンとアームレストに固定しているキャリッジボルト4本とナット4個を外してください [図 1](#)。ブラケットとシートパン側のボルト類は廃棄してください。アームレスト側の締結具とスペーサは捨てないでください。

重要 ブラケットを外した後は、ケーブルなどの重みでアームレストが垂れ下がらないように、何かで支えておいてください。

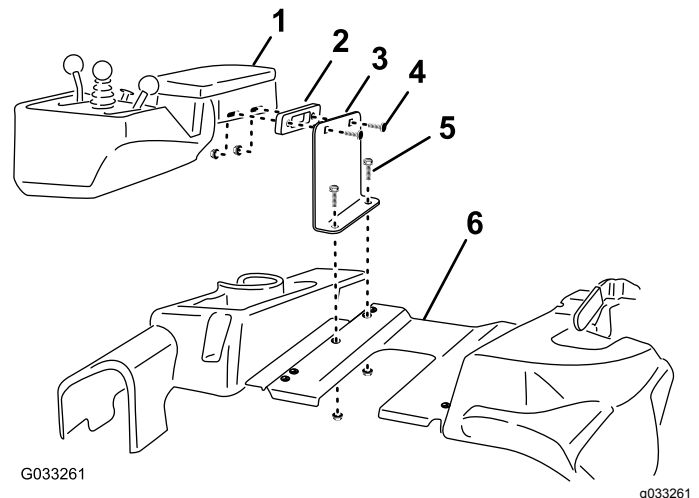


図 1

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. アームレスト | 4. キャリッジボルト再利用 |
| 2. スペーサ | 5. キャリッジボルト廃棄 |
| 3. 出荷用ブラケット廃棄 | 6. シートパン |



- トラクションユニットからスタンダードシートを外してプレミアムシートを取り付ける場合には、以下の準備作業を行ってください。

1. 平らな場所に駐車し、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、キーを抜取る。
2. アームレストと座席を接続しているキャリッジボルト 2 本とナットを外す 図 2。各ボルト・ナットは捨てないこと。

重要 ブラケットを外した後は、ケーブルなどの重みでアームレストが垂れ下がらないように、何かで支えておいてください。

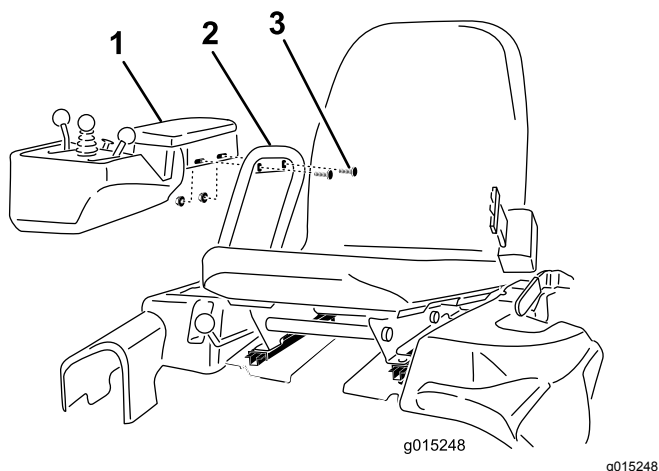


図 2

1. アームレスト
2. 座席側のアームレスト・ブラケット
3. キャリッジボルト

3. シートレールをシートパンに固定しているナット 4 個を外し、座席を取り外す 図 3。

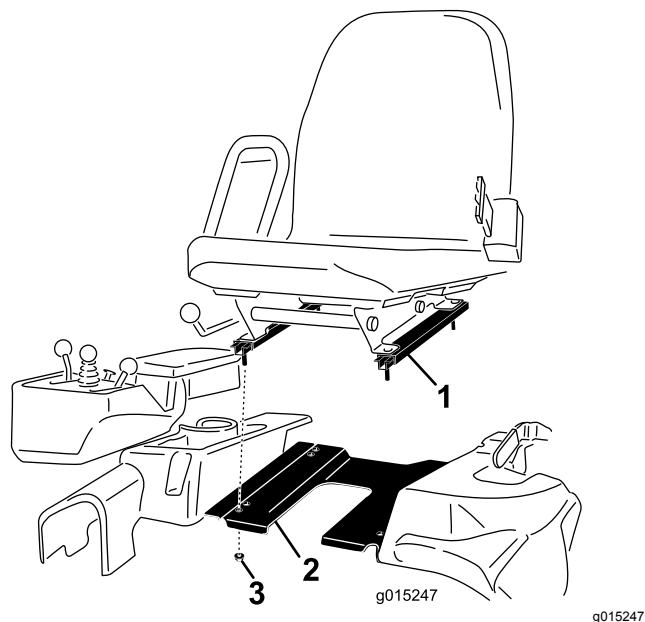


図 3

1. シートレール
2. シートパン
3. フランジナット廃棄

2

新しい座席を取り付ける

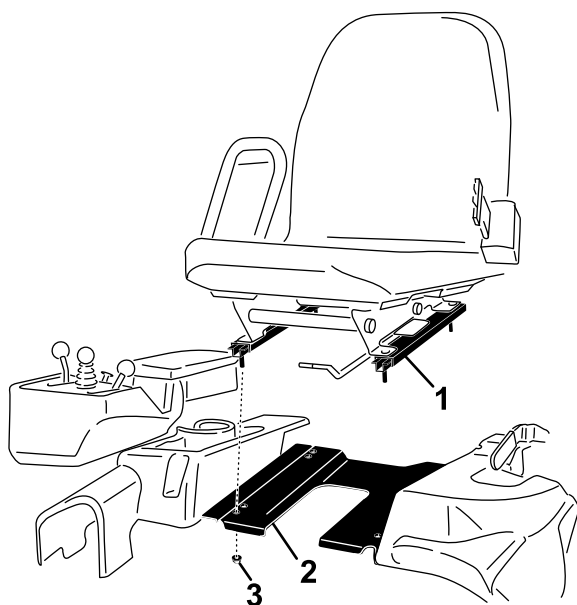
この作業に必要なパーツ

1	シート・アセンブリ
4	フランジナット
1	短いワイヤハーネス

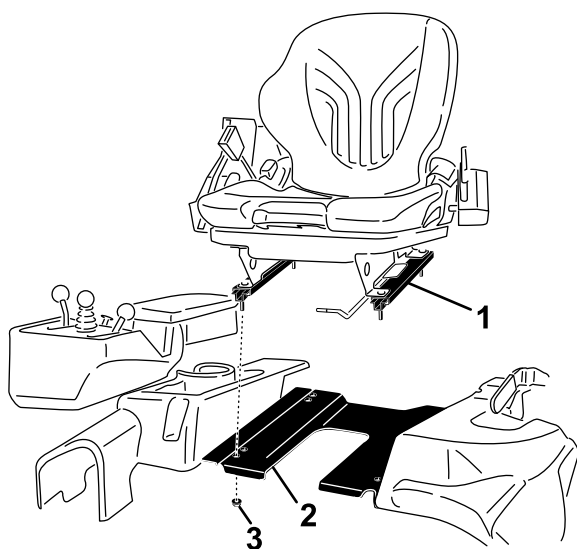
手順

1. シートレールについているスタッド 4 本をシートパンにセットし、フランジナット 4 個で固定する 図 4。

注 シートパンには、2種類の取り付け穴が用意されています。背の高いオペレータには、後ろ側の取り付け穴を使用してください。背の低いオペレータには、前側の取り付け穴を使用してください。



g195601



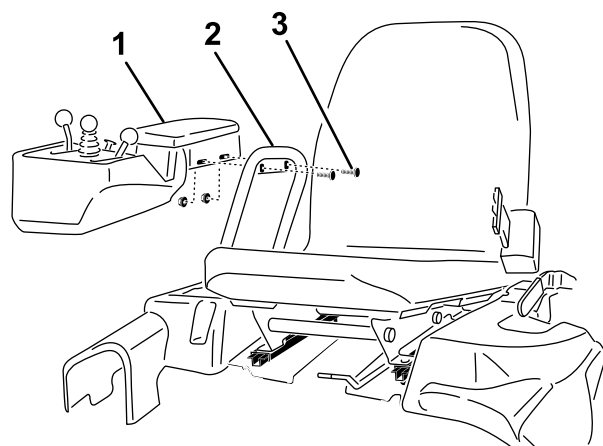
g195602

図 4

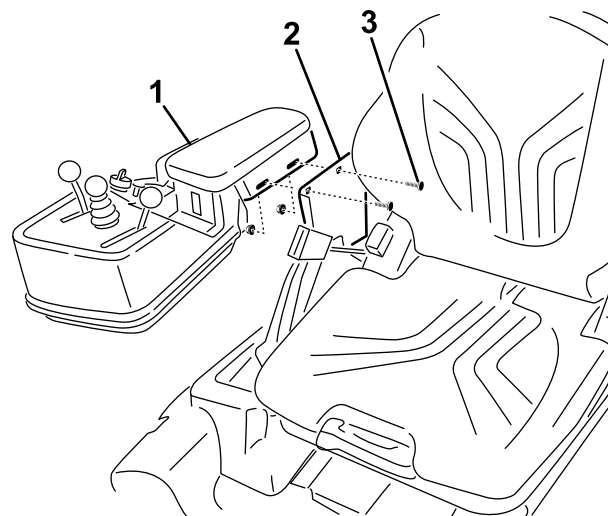
1. シートレール
2. シートパン
3. フランジナット

2. 先ほど取り外したキャリッジボルトとフランジナット各2を使って、アームレストを座席に図 5。

注 ディーゼルエンジン車の場合は、1 マシンの準備を行う (ページ 1) で取り外したスペーサをここで取り付けます。



g195603

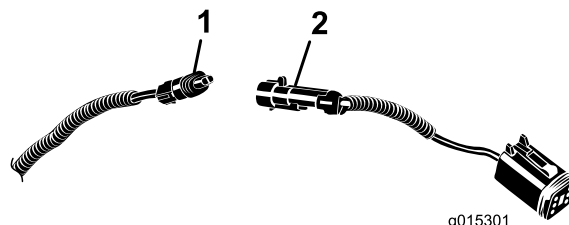


g195604

図 5

1. アームレスト
2. アームレストブラケット
3. キャリッジボルト

3. メイン・ワイヤハーネス運転席の右後ろにあるのコネクタを、運転席側から出ている短いワイヤハーネスに接続する図 6。



g015301

g015301

図 6

図はプレミアムシートのハーネスです

1. メインワイヤハーネスの未使用コネクタ
2. キット側の短いワイヤハーネス

4. 短いワイヤハーネスのコネクタを、運転席背面プレミアムシートの場合または運転席下スタンダードシートの場合についている未使用ポートに接続する。

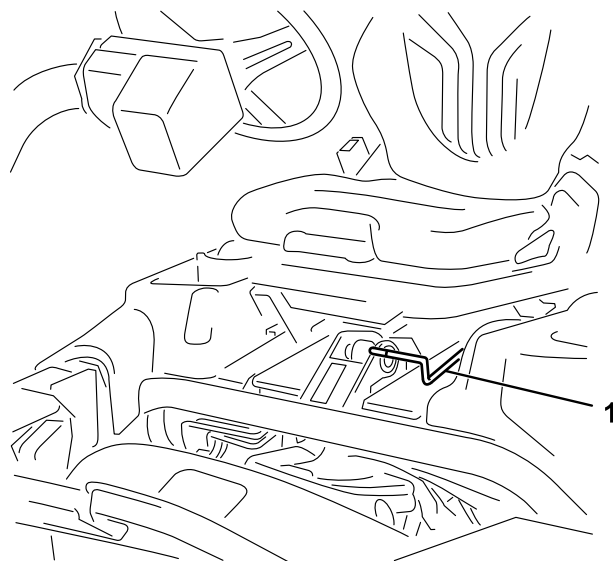
5. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをチョーク/スロットルケーブルに固定する。

運転操作

座席コントロール

座席調整レバー

運転席の左前角部にあります 図 7。ハンドルを上にとくと運転席の前後位置の調整を行うことができます。



g193737

図 7

1. 座席調整ハンドル

注 座席の位置の調整範囲が足りない場合には、座席をレールに固定しているボルト 4 本を外して、さらに前または後ろの取り付け穴に座席を取り付け直してください 図 8。

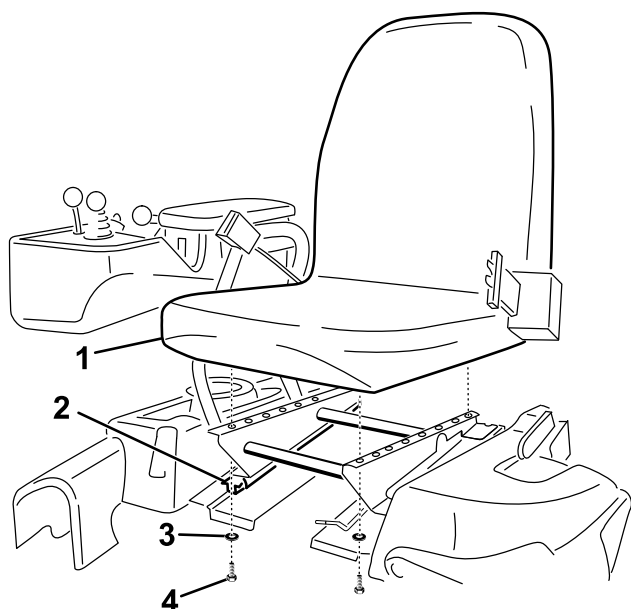


図 8

g195599

- | | |
|---------------|---------|
| 1. シート図は標準シート | 3. ワッシャ |
| 2. シートレール | 4. ボルト |

体重調整レバー

モデル 04719 のみ

体重に合わせた調整を行うことにより、滑らかで心地の良い乗り心地を実現できます。

重要 調整は、運転席に座った状態で行う必要があります。

レバーを引き出して、ポンプ動作を行うことにより、サスペンションを強くしたり弱くしたりすることができます 図 9。

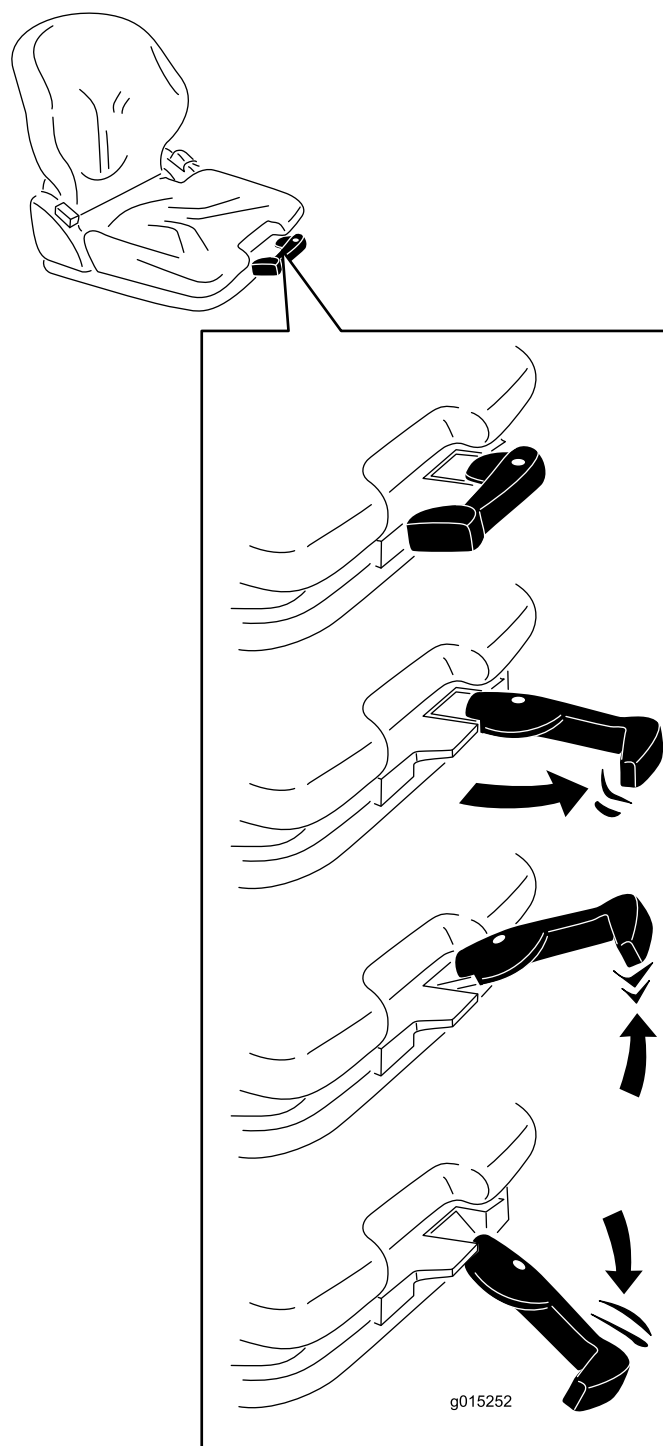


図 9

g015252

窓の中央の透明部分に矢印が表示されたら適切に調整されています。

調整の上限や下限に到達すると、ポンプの音が変わり、それ以上の調整はできなくなります。

重要 オペレータの怪我やマシンの破損を防止するために、使用前に体重調整を点検し、必要に応じて調整するようにしてください。

腰部サポートノブ

モデル 04719 のみ

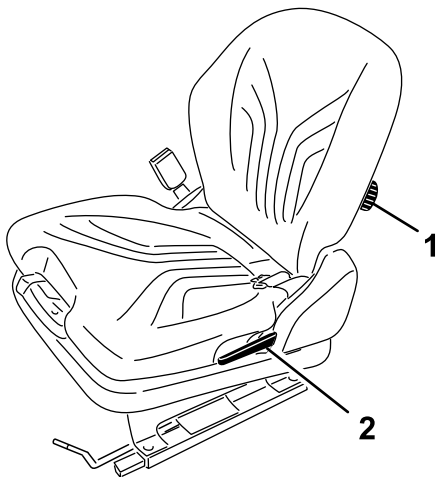
自分の腰部に合うように、運転席後部を調整してください。

調整ノブを上に戻すと背もたれクッションの上側部分の湾曲が変化します。調整ノブを下に戻すと背もたれクッションの下側部分の湾曲が変化します [図 10](#)。

0 = 湾曲なし

1 = 上部の湾曲が最大

2 = 下部の湾曲が最大



g195600

図 10

1. 腰部サポートノブ

2. 背当てロックレバー

背当てロックレバー

モデル 04719 のみ

運転席の背当て部分を調整して乗り心地をさらに改善することができます。

ロックレバーを引いてバックレストキャッチを外します [図 10](#)。この時、バックレストにもたれかかるなどして力を掛けないようにしてください。

背もたれを前または後ろに押して、適当な位置に調整してください。ロックレバーから手を離すと背もたれはロックされます。

注 バックレストをロックした後は、バックレストが動かないのが正常です。

メモ



Count on it.